

ご献体頂いた方のご遺族の皆様へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	上下腹神経叢および下腹神経の構成に関する解剖学的研究 (B26-016)
当院の研究責任者 (所属・職位)	小川元之 (北里大学医学部解剖学 教授)
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	該当なし
本研究の概要・背景・目的	骨盤外科手術においては、自律神経温存手技が広く普及していますが、術後の排尿・排便・性機能障害は依然として重要な課題です。 上下腹神経叢及び下腹神経は、結腸直腸手術や傍大動脈リンパ節郭清、骨盤臓器脱手術において重要な解剖学的ランドマークですが、その三次元的走行や局所解剖に関する詳細なデータは限られています。 本研究は、肉眼解剖および神経染色 (Sihler 染色) を用いて、上下腹神経叢から下腹神経に至る自律神経構造の走行および分布を詳細に解析します。これにより、解剖学的ランドマークとの関係を明らかにし、神経温存手術の精度向上に寄与する解剖学的知見の構築を目的とします。
調査データ 該当期間	研究機関の長の許可日から 2029 年 3 月 31 日までの期間を対象とします。
対象となるご献体者	北里大学白菊会に登録し、死後に本学医学部解剖学単位に献体として提供された篤志献体会員のご遺体の一部を用いて、上記期間内において解剖を行います。本学白菊会を通じて提供頂き、Clinical Anatomy Lab にて管理・保存されているご遺体 (新鮮凍結献体またはホルマリン固定献体)、また北里大学医学部医学科の解剖実習において使用させて頂いているご遺体 (ホルマリン固定献体) を研究対象とします。
研究の方法 (使用する試料等)	研究機関の長の許可日から 2029 年 3 月 31 日までの期間において、対象者の背景 (死亡理由、年齢、性別、身長、体重、BMI、申告書に記載された既往歴、手術瘢痕) を調査した後、解剖を行います。 下腸間膜動脈分岐部レベルの腹部大動脈から仙骨前面の領域を露出した後、上下腹神経叢および下腹神経を含む組織を採取します。 採取された試料に対して神経染色 (Sihler 染色) を行い、上下腹神経叢から下腹神経に至る神経の走行や分布を詳細に観察します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日：研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、北里大学医学部解剖学医局研究費を使用します。 研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。

お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、献体者もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも対象者に不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：北里大学医学部解剖学 教授 担 当 者：小川元之（オガワモトユキ） 電 話：042-778-8111（代表）
備 考	